

## 仕事に楽しみを

令和という元号にも親しみを感じるようになり、今年も半年が過ぎました。博多の街を賑わす山笠も、今年は飾り山だけで寂しい限りです。そんな中、彩花はエアコンクリーニングキャンペーンで大忙しの毎日です。人間は何のために働くのか？「食べるため」と思っている人も多いでしょうがそれは大事な事でもあります。しかし、働くのは、世のため、人のために尽くすことです。今できることをひとつずつやっけていく、そして、困難を喜びに変えていく。人として生まれてきた以上、学び、働き、人間性を高めることが大事です。こうした考え方で、仕事に楽しみを見つけて働きたいと思う7月文月の候です。



## 加工の大事さ

学生寮を持っており、毎年、退去清掃でお世話になっているオーナーのご主人様から、自社の女性スタッフに電話が入りました。内容は「杏を収穫したので取りにおいで」という連絡でした。事務所に帰るとキレイな「杏」がダンボール2箱も頂いて来ていました。それを、それぞれスタッフで分けあい持って帰りました。しかし、とても量が多く、残っていたので、それを頂き、彩花もお世話になっている料理の上手な隣の奥さんに「ジャム」に加工して下さいとお願いしました。快く引き受けて頂き完成しました。6時間も煮詰めたとの事・・・ありがとうございます・・・。

それを、会社に持参し、スタッフは勿論、「杏」を頂いたオーナー様にもジャムを持って行きました。とても喜んで頂き、帰りには今度は「分葱」を頂いてきました。又、それを会社のスタッフが分けて持って帰りました。このことを通じて思ったことは「杏」を頂き、隣の奥様が加工してジャムに変わり、スタッフがお礼にとオーナー様に届ける。この流れで、さらなる感謝が生まれる。この加工は仕事にたとえどリピート、紹介に繋がる関係づくりではないでしょうか。このことがわかれば、お客様との関係が深まり喜ばれる仕事出来る。そして、物も心も豊かになり幸をつかむことができるでしょう。スタッフが頂いてきた「杏」から仕事の大事な原則を学びました。これからもスタッフと共にお客様との関係を「加工」していき、喜んで頂ける仕事をしていきます。



## 母の心に学ぶ

26年お付き合いさせて頂いている歯科クリニックがあります。知り合いの歯科クリニックの紹介で、3ヶ月に1回お掃除に入らせて頂いています。

毎回、院長のお母さんが来られます、掃除のカギの開け締めだけでなく、スリッパや敷物の洗濯してきたものと取替をしております。お母さんも86歳になられ、60歳から26年のお付き合いになります。いつまでも、息子を思う母心のお気持ちは変わらないのでしょう。私も必ず、スタッフが作業に入っている時、会いに行くのですが、お話をするのが楽しみになっています。いつも思うのですが、子供を思う親の気持ち・・・これが、日本人の文化を作りあげたのだなと思います。そして、家族・商売のありかたに繋がっているのです。いくら、世の中が変わっても、このことは忘れたらいけない日本人の大事な「おもてなしの心」なのです。

3ヶ月に1回お会いするたびに、この部分に気づかされます。そして、掃除が終わった後、スタッフが自宅まで送ります。車の中の会話でも、日本人らしさの学びを頂いています。お母さまいつまでもお元気でいて下さい・・・いつもありがとうございます・・・



## 本格的に暑くなる前にエアコン清掃

先日エアコン清掃をさせて頂いたお客様より、嬉しいお声を頂きました。ありがとうございます。

ご依頼内容

- ・エアコン（通常）
- ・エアコン（お掃除機能付き：パナソニック製）
- ・エアコン（天井型）・室外機

【エアコン清掃：お客様満足度 ★★★★★】

お客様の声

丁寧なご対応と、当日急に室外機を追加でお願いしたら、快く引き受けて頂き、大変感謝いたしております。換気扇などまた近々お願いしたいと思います。最後に彩花新聞^\_^とても清々しく素敵な内容ですね。記事はどなたが書かれているのでしょうか。ありがとうございます。

クリーン彩花のエアコン清掃は、エアコン内部まで分解し、丸ごと洗浄します！クリーニングすることで、清潔になるだけでなく、冷暖房の効率がUP！電気代も10%~15%の節約になります。

本格的な夏がくる前にエアコンを丸洗いして、綺麗な空気で快適に過ごしませんか？

# いまなぜ、掃除・挨拶が重視されるのか

## ■生き方も経営も、大切なのは基本、土台づくり

少し堅苦しい話になるが、孟子に「道はちかきにあり。而るにこれを遠きに求む」という言葉がある。孟子のいう道とは「人の歩むべき道」であり、「その道は近くにあるにもかかわらず、人々はわざわざ遠くにもとめている」と戒めた言葉である。つまり、とりたてて特別の新しい行ないをするよりも、まず身近な基本的なことを行ないなさい、という生き方の基本の教えである。

生き方の身近で基本的な事柄としては、思いやりや優しさの心を持つ、約束や時間を守る、人に迷惑をかけないなどがある。これらの事項は昔からいわれている平凡なことであるが、この当たり前のことをまずしっかり行なうわけである。人間の生き方の原点回帰であり、足元からがっちり固めていこうというのだ。

この孟子の教えは人々の生き方の教えのみならず、経営のあり方についてもそのままあてはまる。経営に成功するためには、時代の変化につれて当然新たな対応が必要となるが、その前提として前項で述べたように経営の基礎・基本(土台づくり)がしっかりできていなければならない。土台づくりがしっかりできていないのに、その上に新しいことを採り入れても、それは砂上の楼閣にすぎない。生き方も経営も根本は同じである。

孟子は中国の遠い過去に生きた人であるが、その言葉の意味するところを再確認し、今後の経営に活かしていく必要があるのではないだろうか。



## ■いま脚光を浴びている凡事徹底の企業

では経営の基礎・基本、身近で大切な事項とは何なのであろうか？

私はやはり「人づくり」にあると思う。「企業は人なり」とは言いふるされた言葉だが、いくら時代が進展しても、経営の中心は人であり、人の面をおろそかにしては経営に成功することはできない。社員が変わり、社員のレベルが高まってこそ、会社が変わり、会社のレベルが高まり経営に成功することができるのだ。「企業はひとり」は古くして新しい言葉なのである。

次に、経営の基本となる人づくりを行う上で、身近で大切な事項は何であるか・・・ということになるが、その具体的内容として掃除、挨拶、躰、整理、整頓、約束の遵守などを上げたい。

これらの事項も昔から言われている平凡な事項であり「何をいまさらそんなわかりきったことをいうのか」と思われるかもしれない。しかし、まずこれからのことをしっかり行うことが企業の土台づくりにつながり、企業成長の礎となるのである。「行き詰まったら原点に戻れ」と言われる。

何をやってもなかなかうまくいかない時代においては原点回帰、基本を忠実に守ることが何より大切になってくる。新しい経営方法などの導入も大切ではあるが、まず近く大切な事項をがっちり行ない足元を固める、これに尽きると思う。

掃除や挨拶というとまことに平凡なことであるが、当たり前の凡事をコツコツと行うことが人づくりにつながり、独特の社風が形成されるのだ。こうした社風は一朝一夕につくられるものでなく、長い年月をかけてつくられるものであって、他の企業では簡単にマネをすることができない。

(株)日本実業出版社 様より一部抜粋

# 【凡事徹底】による経営のプロセス

